

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成30年2月13日

【四半期会計期間】 第150期第3四半期(自平成29年10月1日至平成29年12月31日)

【会社名】 日本精化株式会社

【英訳名】 Nippon Fine Chemical Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役執行役員社長 矢野 進

【本店の所在の場所】 大阪市中央区備後町2丁目4番9号

【電話番号】 06(6231)4781

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員管理本部長兼経理部長 深瀬 真一

【最寄りの連絡場所】 大阪市中央区備後町2丁目4番9号

【電話番号】 06(6231)4781

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員管理本部長兼経理部長 深瀬 真一

【縦覧に供する場所】 日本精化株式会社 東京支店
(東京都中央区日本橋小伝馬町4番9号
小伝馬町新日本橋ビルディング)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第149期 第3四半期 連結累計期間 | 第150期 第3四半期 連結累計期間 | 第149期 |
|----------------------------------|------------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日 | 自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日 | 自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日 |
| 売上高 (百万円) | 18,595 | 20,549 | 25,153 |
| 経常利益 (百万円) | 1,940 | 2,354 | 2,560 |
| 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円) | 1,341 | 1,598 | 1,815 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (百万円) | 2,071 | 3,649 | 2,737 |
| 純資産額 (百万円) | 32,238 | 35,926 | 32,846 |
| 総資産額 (百万円) | 40,453 | 45,292 | 40,066 |
| 1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円) | 56.49 | 67.31 | 76.45 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 77.87 | 77.64 | 80.26 |

| 回次 | 第149期 第3四半期 連結会計期間 | 第150期 第3四半期 連結会計期間 |
|-------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 会計期間 | 自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日 | 自 平成29年10月1日 至 平成29年12月31日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 (円) | 19.86 | 24.81 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な世界経済を背景とした輸出の増加による企業収益の改善など、緩やかな景気回復が持続しておりますが、米国や中国の政治・経済動向、地政学的リスクの高まりなど、先行きに不透明感が残る状況で推移してまいりました。

このような事業環境のなかで、当社グループは経営基盤の更なる強化に取り組むとともに、収益拡大に貢献する製品開発とその拡販に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は工業用製品事業の売上高が増加したことにより205億4千9百万円（前年同四半期比10.5%増）と増収となりました。また、利益面でも工業用製品事業の利益が増加したことにより営業利益22億2百万円（同25.2%増）、経常利益23億5千4百万円（同21.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益15億9千8百万円（同19.2%増）と増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

工業用製品事業

当セグメントにおきましては、化粧用機能原料と医薬用リン脂質の販売増及び販売構成の良化などにより売上高、利益ともに増加いたしました。この結果、売上高は147億9千5百万円（前年同四半期比12.7%増）、セグメント利益（営業利益）は15億9千9百万円（同26.6%増）となりました。

家庭用製品事業

当セグメントにおきましては、新規顧客の獲得や新製品の拡販により原料コストの上昇などの影響はありましたが、売上高、利益ともに増加いたしました。この結果、売上高は49億8千万円（前年同四半期比2.9%増）、セグメント利益（営業利益）は3億9千7百万円（同2.6%増）となりました。

その他

その他の事業の売上高は7億7千3百万円（前年同四半期比22.8%増）、セグメント利益（営業利益）は2億4百万円（同89.3%増）となりました。

(2) 経営方針・経営戦略等及び経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等及び経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標等について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は4億4千5百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 38,413,600 |
| 計 | 38,413,600 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成29年12月31日) | 提出日現在 発行数(株) (平成30年2月13日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|---|---------------------------------|------------------------------------|--|
| 普通株式 | 25,372,447 | 25,372,447 | 東京証券取引所 (市場第一部) | 権利内容になんら制限のない 当社における標準となる株式 であり、単元株式数は100株 であります。 |
| 計 | 25,372,447 | 25,372,447 | | |

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (千株) | 発行済株式 総数残高 (千株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|-------------|------------------------|-----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成29年12月31日 | | 25,372 | | 5,933,221 | | 6,803,362 |

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成29年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成29年12月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------------------|----------|----------------------------|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 1,624,700 | | 権利内容になんら制限のない当社における標準となる株式 |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式23,725,700 | 237,257 | 同上 |
| 単元未満株式 | 普通株式 22,047 | | 同上 |
| 発行済株式総数 | 25,372,447 | | |
| 総株主の議決権 | | 237,257 | |

(注) 「完全議決権株式(その他)」の株式数の欄及び議決権の数の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株、議決権10個が含まれております。また、単元未満株式には当社所有の自己株式19株が含まれております。

【自己株式等】

平成29年12月31日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 日本精化株式会社 | 大阪市中央区備後町 2丁目4番9号 | 1,624,700 | | 1,624,700 | 6.40 |
| 計 | | 1,624,700 | | 1,624,700 | 6.40 |

(注) 当社所有の単元未満株式19株は含まれておりません。

2 【役員 の 状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成29年10月1日から平成29年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日) |
|-------------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 7,975,450 | 10,388,600 |
| 受取手形及び売掛金 | 6,820,077 | 1 7,242,300 |
| 商品及び製品 | 2,470,394 | 2,190,253 |
| 仕掛品 | 1,590,232 | 1,635,751 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,195,507 | 2,424,027 |
| 繰延税金資産 | 204,710 | 145,717 |
| その他 | 138,699 | 167,986 |
| 貸倒引当金 | 240 | 262 |
| 流動資産合計 | 21,394,830 | 24,194,374 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 3,501,929 | 3,373,856 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 2,156,324 | 1,913,350 |
| 土地 | 3,872,535 | 3,872,535 |
| 建設仮勘定 | 2,884 | 151,893 |
| その他（純額） | 360,034 | 367,768 |
| 有形固定資産合計 | 9,893,710 | 9,679,405 |
| 無形固定資産 | 290,855 | 340,524 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 8,273,477 | 10,877,055 |
| その他 | 213,476 | 200,976 |
| 投資その他の資産合計 | 8,486,953 | 11,078,031 |
| 固定資産合計 | 18,671,519 | 21,097,961 |
| 資産合計 | 40,066,350 | 45,292,335 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日) |
|--------------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,132,753 | 1 4,167,499 |
| 未払金 | 494,352 | 533,956 |
| 未払法人税等 | 339,161 | 320,463 |
| 賞与引当金 | 429,359 | 299,200 |
| 役員賞与引当金 | 52,472 | 45,587 |
| 設備関係未払金 | 98,700 | 285,802 |
| その他 | 464,570 | 722,164 |
| 流動負債合計 | 5,011,370 | 6,374,675 |
| 固定負債 | | |
| 繰延税金負債 | 1,699,777 | 2,525,714 |
| 環境対策引当金 | 4,396 | 4,396 |
| 退職給付に係る負債 | 348,643 | 313,185 |
| 長期未払金 | 31,019 | 24,984 |
| 長期預り保証金 | 92,922 | 92,439 |
| 資産除去債務 | 26,230 | 26,230 |
| その他 | 5,796 | 3,941 |
| 固定負債合計 | 2,208,785 | 2,990,890 |
| 負債合計 | 7,220,156 | 9,365,565 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,933,221 | 5,933,221 |
| 資本剰余金 | 6,803,363 | 6,803,363 |
| 利益剰余金 | 16,517,795 | 17,570,336 |
| 自己株式 | 1,023,548 | 1,024,065 |
| 株主資本合計 | 28,230,832 | 29,282,856 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,632,154 | 5,436,806 |
| 繰延ヘッジ損益 | 2,915 | 29 |
| 為替換算調整勘定 | 337,823 | 482,889 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 40,004 | 35,539 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,927,057 | 5,884,127 |
| 非支配株主持分 | 688,303 | 759,786 |
| 純資産合計 | 32,846,193 | 35,926,770 |
| 負債純資産合計 | 40,066,350 | 45,292,335 |

(2) 【四半期連結損益及び包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 18,595,177 | 20,549,825 |
| 売上原価 | 13,670,256 | 15,066,691 |
| 売上総利益 | 4,924,921 | 5,483,134 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,165,441 | 3,280,675 |
| 営業利益 | 1,759,480 | 2,202,458 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 23,342 | 22,454 |
| 受取配当金 | 129,331 | 148,556 |
| 為替差益 | 8,899 | - |
| 雑収入 | 25,147 | 23,575 |
| 営業外収益合計 | 186,722 | 194,586 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,890 | 5,167 |
| 為替差損 | - | 26,250 |
| 雑損失 | 3,075 | 11,504 |
| 営業外費用合計 | 5,965 | 42,922 |
| 経常利益 | 1,940,236 | 2,354,123 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 51 | 136 |
| 投資有価証券売却益 | 21,531 | - |
| 特別利益合計 | 21,582 | 136 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 8 | - |
| 固定資産除却損 | 7,950 | 2,119 |
| 会員権評価損 | 3,300 | - |
| 特別損失合計 | 11,258 | 2,119 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,950,560 | 2,352,140 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 450,415 | 615,872 |
| 法人税等調整額 | 98,079 | 83,727 |
| 法人税等合計 | 548,495 | 699,600 |
| 四半期純利益 | 1,402,065 | 1,652,540 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,341,646 | 1,598,698 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 60,418 | 53,841 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 745,605 | 1,804,652 |
| 繰延ヘッジ損益 | 17,233 | 3,208 |
| 為替換算調整勘定 | 102,258 | 184,224 |
| 退職給付に係る調整額 | 8,505 | 4,464 |
| その他の包括利益合計 | 669,085 | 1,996,549 |
| 四半期包括利益 | 2,071,151 | 3,649,089 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 2,030,289 | 3,555,767 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 40,861 | 93,322 |

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日) |
|------|-------------------------|-------------------------------|
| 受取手形 | - 千円 | 174,381千円 |
| 支払手形 | - " | 9,843 " |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) |
|-------|--|--|
| 減価償却費 | 768,596千円 | 721,840千円 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成28年6月23日 定時株主総会 | 普通株式 | 273,107 | 11.50 | 平成28年3月31日 | 平成28年6月24日 | 利益剰余金 |
| 平成28年10月28日 取締役会 | 普通株式 | 273,105 | 11.50 | 平成28年9月30日 | 平成28年12月1日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成29年6月22日 定時株主総会 | 普通株式 | 273,103 | 11.50 | 平成29年3月31日 | 平成29年6月23日 | 利益剰余金 |
| 平成29年10月30日 取締役会 | 普通株式 | 273,098 | 11.50 | 平成29年9月30日 | 平成29年12月1日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 | 四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額(注)2 |
|-----------------------|-------------|-------------|------------|-------------|------------|---------|-------------------------------------|
| | 工業用製品 事業 | 家庭用製品 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 13,123,222 | 4,842,187 | 17,965,409 | 629,767 | 18,595,177 | - | 18,595,177 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 124,614 | 35,321 | 159,935 | 25,052 | 184,988 | 184,988 | - |
| 計 | 13,247,836 | 4,877,509 | 18,125,345 | 654,819 | 18,780,165 | 184,988 | 18,595,177 |
| セグメント利益 | 1,263,408 | 387,841 | 1,651,250 | 108,229 | 1,759,480 | - | 1,759,480 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び薬理・安全性試験の受託を行う事業を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 | 四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額(注)2 |
|-----------------------|-------------|-------------|------------|-------------|------------|---------|-------------------------------------|
| | 工業用製品 事業 | 家庭用製品 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 14,795,701 | 4,980,994 | 19,776,695 | 773,129 | 20,549,825 | - | 20,549,825 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 108,297 | 35,936 | 144,234 | 24,911 | 169,145 | 169,145 | - |
| 計 | 14,903,998 | 5,016,931 | 19,920,930 | 798,041 | 20,718,971 | 169,145 | 20,549,825 |
| セグメント利益 | 1,599,773 | 397,771 | 1,997,545 | 204,913 | 2,202,458 | - | 2,202,458 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び薬理・安全性試験の受託を行う事業を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) |
|-----------------------------------|--|--|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 56円49銭 | 67円31銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円) | 1,341,646 | 1,598,698 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円) | 1,341,646 | 1,598,698 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 23,748,315 | 23,747,845 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

第150期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)中間配当について、平成29年10月30日開催の取締役会において、平成29年9月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議し、配当を行なっております。

| | |
|--------------------|------------|
| 配当金の総額 | 273,098千円 |
| 1株当たりの金額 | 11円50銭 |
| 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 | 平成29年12月1日 |

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年2月1日

日本精化株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

| | | | | | | |
|--------------------|-------|---|---|---|---|---|
| 指定有限責任社員 業務執行社員 | 公認会計士 | 山 | 田 | 美 | 樹 | 印 |
| 指定有限責任社員 業務執行社員 | 公認会計士 | 高 | 崎 | 充 | 弘 | 印 |

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日本精化株式会社の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成29年10月1日から平成29年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日本精化株式会社及び連結子会社の平成29年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。